

みえメディカルバレー構想

第3期実施計画

取組と成果

## I みえメディカルバレー構想第3期実施計画の取組と成果

### (1) みえメディカルバレー構想第3期実施計画のめざす姿と基本方向

みえメディカルバレー構想では、産学官民の各主体が取り組む「みえメディカルバレープロジェクト」について、県内産学官民組織で構成する「みえメディカルバレー推進代表者会議」が計画期間中にめざす姿と取組の基本方向を定めた実施計画を策定しています。

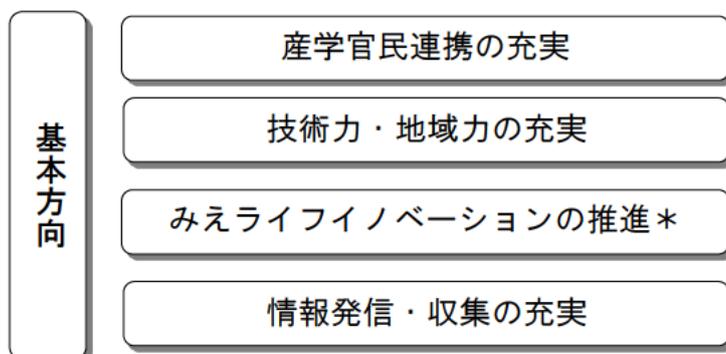
これまで、平成14年度から19年度までを第1期実施計画（「立ち上げ期」）、平成20年度から22年度までを第2期実施計画（「基盤整備期」）と位置づけ、各実施計画で定めためざす姿と取組の基本方向に基づき各種事業に取り組んできました。

平成24年度から27年度までの第3期実施計画（「成長期」）では、これまでの成果や課題、社会情勢の変化等を勘案し、めざす姿と取組の基本方向を次のとおり掲げ、産学官民の各主体が取組を行なってきました。特に、第3期実施計画では、質的・量的にニーズが拡大し、潜在的市場価値の高い医療・健康・福祉分野について、ライフイノベーションを通じて、新たな産業の創出につなげるため、基本方向の一つである「みえライフイノベーションの推進」に関する事業を重点的に取り組んできました。

#### 【第3期実施計画のめざす姿】

- ・県内各地域で医療・健康・福祉分野の先進的な取組が行われ、産業が活性化しています。
- ・医療・健康・福祉分野の産学官民連携の基盤を活用し、本分野で活用される製品やサービスが次々に生み出されています。
- ・みえメディカルバレープロジェクトで生み出された製品やサービスを県民が享受し、健康な生活を送り、福祉の充実につなげています。

#### 【第3期実施計画の基本方向】



\*ライフイノベーション：

医療・健康・福祉分野で、新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすことをいい、革新的な医薬品、医療機器、医療・介護技術等の研究開発の促進や関連産業の活性化をめざす。

## (2) 第3期実施計画の取組と成果

第3期実施計画の事業目標と27年度までの成果

指 標	目標値 (27年度)	実績値 (24~27年度)
医療・健康・福祉分野の製品開発取組数	32件	39件
治験受入件数	100件	167件
企業立地・第2創業数	20件	39件

### ① 基本方向1「産学官民連携の充実」の取組と成果

ア フォーラム、セミナー等の開催

医療・健康・福祉分野に関わる県内外の産学官民の情報共有やネットワークの拡充を図るため、各主体が医療・健康・福祉分野に関する様々なフォーラムやセミナー等を開催しました。

【大学等、団体、行政】

#### 主な取組

【MieLIP・県】

- ・MieLIP キックオフフォーラム
- ・みえライフイノベーション総合特区フォーラム
- ・中部地域医療機器関連産業支援フォーラム in みえ
- ・みえライフイノベーションフォーラム

【大学等】

- ・食のアカデミーセミナーinTOBA (三重大学)
- ・先端研究シンポジウム (三重大学)
- ・三重大学サイエンスカフェ
- ・三重大学産学官連携セミナーin伊賀
- ・健康社会を支えるセミナー (鈴鹿医療科学大学)
- ・三重大学・鈴鹿医療科学大学合同産学官交流フォーラム
- ・ワークショップ、ライフセミナー (鈴鹿大学/鈴鹿短期大学)
- ・工学専門講座 (鈴鹿工業高等専門学校)
- ・公開講座 (三重県立看護大学、四日市看護医療大学、四日市大学、皇學館大学、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校)

【団体等】

- ・健康教育講演会（三重県医師会）
- ・食と健康フォーラム（三重県歯科医師会）
- ・健康講座（三重県薬剤師会） 等



中部地域医療機器関連産業支援フォーラム in みえ (H26.12月、津市)

左: 鈴木三重県知事、右: 佐野名古屋工業大学教授

## イ メディカルバレー推進体制の充実

みえメディカルバレープロジェクトの方向性や取組に対する意見の聴取等を行い、ネットワークの充実と効果的な事業の推進を図るため、県内産学官民組織で構成する「みえメディカルバレー推進代表者会議」や産学官民関係者による事業推進組織「みえメディカルバレー企画推進会議」を開催しました。

また、平成24年に国から指定を受けた「みえライフイノベーション総合特区」の取組を推進するため、産学官民に金融機関を加えた組織で構成する「みえライフイノベーション総合特区地域協議会」を設置し、取組状況に対する意見や提案等を行いました。

さらに、平成25年に開設した県内7か所の研究開発支援拠点「みえライフイノベーション推進センター (MieLIP)」の取組に対する拠点間連携を図るため、連携会議を開催しました。

【行政、大学等、関係団体、企業等】

- ・みえメディカルバレー推進代表者会議の開催
- ・みえメディカルバレー企画推進会議の開催
- ・みえライフイノベーション総合特区地域協議会の開催
- ・「みえライフイノベーション推進センター (MieLIP)」連携会議の開催

## ② 基本方向2「技術力・地域力の充実」の取組と成果

### ア 事業者への支援

県内中小企業等の研究開発、製品開発や販路開拓など企業活動を支援するため、技術相談、出前キャラバンや外部専門家派遣などを実施しました。

【大学等、関係団体、行政】

主な取組

【大学、関係団体】

- ・ 県内中小企業の技術支援・コーディネート等（三重大学、三重TLO、三重県産業支援センター）

【県】

- ・ 各種技術相談、出前キャラバンの実施（三重県工業研究所）

イ 各種専門研修会等の開催

医療・健康・福祉分野の高度化を目的として各種専門研修会等を開催しました。

また、異業種からの参入支援を目的として薬事関係法令や許可等に関する研修会等を開催しました。

【行政、大学等】

主な取組

【県】

- ・ 企業の研究開発技術人材の育成をめざした専門研修（三重県工業研究所）
  - 機器取扱講習
  - 基盤技術研修講座
  - 先進技術セミナー

- ・ 薬事関係技術高度化研修会（三重県薬務感染症対策課）

【大学等】

- ・ 薬剤師対象生涯研修セミナー（鈴鹿医療科学大学）

ウ 治験ネットワークの活用

三重県内での治験や臨床研究を推進し、高度先進医療の提供をめざして三重大学と NPO 法人みえ治験医療ネットを中心に取り組む「みえ治験医療ネットワーク」（基幹病院 26 施設、中小規模医療機関 97 施設、計 123 施設）について取組の充実、強化を図るため、企業等の依頼による大規模治験の受入推進や治験に対する県民への普及啓発、他地域の治験ネットワークとの連携等の取組を実施しました。

【大学等、NPO、県内医療機関】

主な取組

- ・ 平成 15 年度から 26 年度までの契約試験数 累計 323 件
- ・ 臨床研究・治験に関する意見交換会の開催
- ・ 県内基幹病院で治験の普及啓発活動
- ・ 地域治験ネットワーク会議への参画 等

## エ オープンラボの整備

県内の食・医薬品関連企業による地域資源を活用した高付加価値製品の開発や新たな食品関連産業の創出を支援するため、三重大学と県工業研究所が連携して整備した「みえ“食発・地域イノベーション”創造拠点」の運営や県工業研究所が所有する試験研究機器を企業に開放し利用いただきました。 【大学等、行政】

### 主な取組

#### 【県】

- ・ 県工業研究所が所有している試験研究機器の企業への開放等

## オ 福祉ものづくりの促進

三重県身体障害者総合福祉センター内に設置した「みえテクノエイドセンター」を中心として、大学や企業等と連携し、高齢者や障がい者に適した福祉用具及び自助具の改良、新たな製品開発につなげるための利用者のニーズ収集、福祉用具に関する適切な情報提供や普及啓発を行いました。 【大学等、関係団体、行政】

### 主な取組

#### 【県、みえテクノエイドセンター】

- ・ みえ福祉用具アイデアコンクールの実施
- ・ みえ福祉用具フォーラムの開催（津市） 等



みえ福祉用具フォーラム(津市)

## カ 人材の育成

薬事関連企業の新規採用者を対象として、薬事関連法令の研鑽と即戦力を養うことを目的としたGMP基礎講習会や研修会を開催しました。

また、県内の薬系高度人材を確保するため、薬系大学や関係機関と連携したインターシップの受け入れ等を実施しました。

さらに、三重大学においては、高度な研究開発に関する能力、研究開発のプロジェクト・マネジメントに関する能力、グローバル化に対応した国際感覚を持った人材育成に取り組むとともに、鈴鹿医療科学大学において

は、鈴鹿ロボケアセンターと連携し、ロボットスーツHALによる高度なリハビリ技術を持つ人材育成に取り組みました。

また、県内の工学系の大学や高専では、社会課題に対して教育を兼ねて解決を図るため、ロボットを含めた医療・福祉機器開発に関する人材育成の取組を進めました。

#### 【大学等、関係団体、行政】

##### 主な取組

###### 【薬事工業会】

- ・ GMP 基礎講習会

###### 【県、薬事工業会】

- ・ 薬系大学生のインターンシップの受け入れ
- ・ 大学主催による就職説明会への参加 等

#### キ 商談会・マッチングの促進

県内中小企業等と国内外企業とのマッチングや販路拡大、販売促進等の支援するため、展示会、商談会の開催や国内外の展示会への出展、県内ものづくり企業や大学のシーズ集作成等を行いました。

薬系大学生のインターンシップ



#### 【行政、大学等、企業】

##### 主な取組

###### 【MieLIP、大学等、関係団体、県】

- ・ みえライフイノベーション総合特区 in 東京・大阪の開催（東京都、大阪府）
- ・ インターフェックスジャパンの出展（東京都）
- ・ 医療機器メーカーと県内ものづくり企業の交流・展示会や商談会の開催
- ・ 三重大学が機能性食品の開発に取り組む地域企業3社と共同研究し、製品化
- ・ 三重大学が海外（台湾）への販路開拓支援を実施
- ・ 県内ものづくり企業のPR資料として企業情報集の作成
- ・ 鈴鹿医療科学大学シーズ集の作成 等



三重ものづくり企業と医療機器メーカーとの交流・展示会 in 本郷(東京都)



日本GEと三重県内企業との技術交流・商談会

#### ク 共同研究の促進

大学や企業等による共同研究を促進するため、国等の研究プロジェクト

トへの応募や競争的研究資金の獲得をめざした支援を実施するとともに、獲得後の円滑な事業運営に向けた支援を行いました。

【大学等、医療機関、企業】

**主な取組**

【大学等、医療機関、企業】

- ・民間企業との共同研究の実施（三重大学・鈴鹿医療科学大学）
- ・「産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業」（経済産業省）の採択（三重大学）
- ・医農福連携による介護食の開発に向けた県内食品メーカーと医療機関等による共同研究の実施



井村屋櫛が開発した高カロリー豆腐を使った伊賀市立上野総合市民病院(MieLIP伊賀)での臨床試験の実施

ケ 産学官民参加型研究会の開催

新たな製品をめざし研究開発を促進するため、医療・健康・福祉分野の産学官民参加型の研究会を開催しました。

【MieLIP、大学等、企業】

**主な取組**

- ・福祉用具・ものづくり研究会
- ・ロボット研究会
- ・病態薬学研究会
- ・腫瘍薬学研究会
- ・健康社会を支える食品研究会
- ・薬事研究会（医薬品等品質管理研究会、微生物研究会、GMP・法規研究会）
- ・医療機器・福祉機器開発研究会（鋼製小物研究会）
- ・医薬品・食品等機能性素材開発研究会
- ・医薬品メーカー等と高校との連携による化粧品、健康茶の開発をめざした研究会
- ・自転車を活用した健康増進プログラムの開発研究会
- ・鳥羽オリジナル化粧品の開発をめざした研究会
- ・海岸ウォーキングによるリラクゼーション効果を生かした旅行商品の開発研究会
- ・尾鷲セラピストによる熊野古道・健康ウォーキングツアーの開発研究会 等



自転車を活用した健康増進プログラムの開発（MieLIP 多気）



海岸ウォーキングによるリラクゼーション効果を生かした旅行商品の開発(MieLIP 鳥羽)



尾鷲セラピストによる熊野古道・健康ウォーキングツアーの開発（MieLIP 尾鷲）

## コ 日本薬膳学会の創設

日本における薬膳の普及に伴い、薬膳の充実や日本版薬膳の確立に向けて医師、薬剤師、管理栄養士など様々な職種と連携し、東洋と西洋の医学を融合した世界初の新しい薬膳を創出するため、鈴鹿医療科学大学内に一般社団法人日本薬膳学会が創設されました。

【大学等、企業】

## ③ 基本方向3「みえライフイノベーションの推進」の取組と成果

### ア 地域活性化総合特区「みえライフイノベーション総合特区」の指定

第3期実施計画において特に注力する「みえライフイノベーションの推進」について、国による規制緩和の特例や財政的支援制度等を活用しながら画期的な医薬品・医療機器等の創出を推進するため、平成24年7月、国から地域活性化総合特区「みえライフイノベーション総合特区」の指定を受けるとともに、特区計画の認定を受けました。

#### ・総合特区計画の指定時期及び認定時期

平成24年7月25日 特区指定

平成24年11月30日 特区計画認定（平成25年9月2日最終変更）

#### ・計画期間

平成24年度～28年度

### ○特区計画の事業目標及び進捗状況

評価指標	数値目標（H28）	実績（H26）及び進捗度*
統合型医療情報データベースの規模	30万人分	構築中
医療・福祉現場ニーズの収集件数	2,000件	1,519件 進捗度 127%
医薬品生産金額	184,118百万円 (H22比50%増)	108,338百万円 進捗度 77%
医療機器生産金額	6,972百万円 (H22比100%増)	4,107百万円 進捗度 95%
MieLIP活用機関数（県内）	50機関	80機関 進捗度 267%
MieLIP活用機関数（県外）	30機関	58機関 進捗度 322%
医療・健康・福祉分野企業（第2創業を含む。）及び研究機関の立地件数	50件	32件 進捗度 107%

\*進捗度は各年度の数値目標に対する達成状況を表す。

○内閣府による事後評価（平成 26 年度）

	評価点（5点満点）
①目標に向けた取組の進捗に関する評価	4.3
②支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価	3.5
③総合評価	3.6
評価結果	3.8

※参考：地域活性化総合特区・ライフノベーション分野 全国 14 特区中 5 位  
（前年度 12 特区中 5 位）

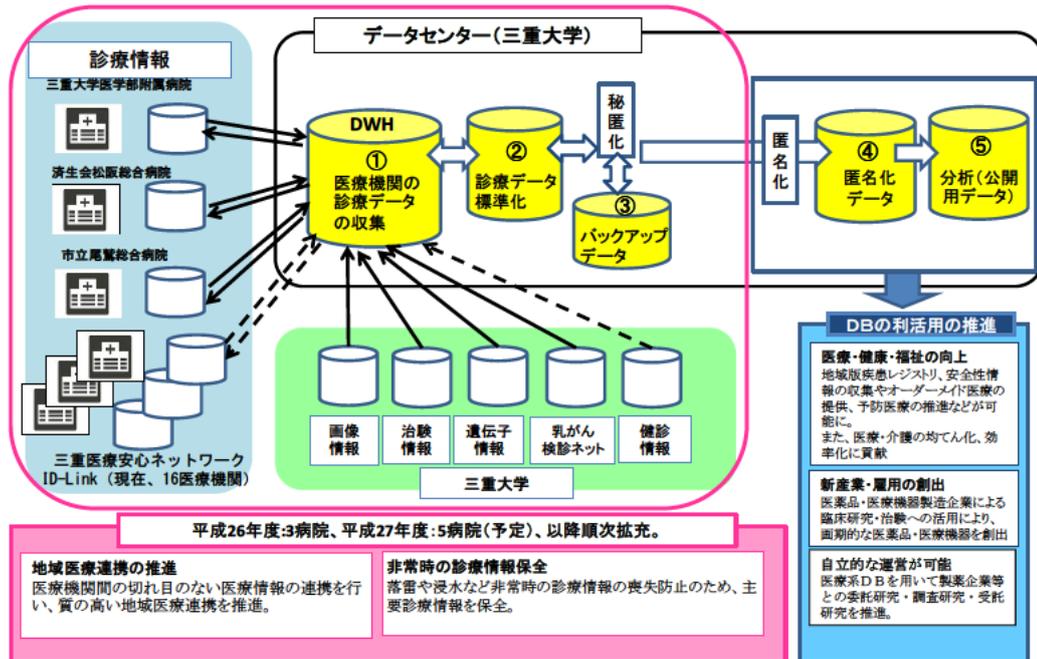
イ 統合型医療情報データベースの整備

医療の高度化や均てん化の推進、災害時の医療情報の保全等を目的として、県内医療機関に整備されている医療系ネットワークを活用し、患者の医療情報（病名、検査値、薬剤等）を収集し、分析を行う「統合型医療情報データベース」（以下、医療情報DB）について、三重大学医学部附属病院を事業主体として平成 26 年度からシステムの整備と医療情報収集に向けた取組が開始されました。

県内 8 医療機関の参加に向けた基盤整備や医療データの標準化作業が進められており、医療のビッグデータを活用した画期的な医薬品や医療機器等の開発をめざして、医療情報DBを活用した企業等との共同研究や他の医療データベースとの連携などの取組が予定されています。

【大学等、医療機関、行政】

○統合型医療情報データベースの概要



ウ 研究開発支援拠点「みえライフイノベーション推進センター（以下、MieLIP）」の開設

企業等の製品開発を支援する拠点として、平成25年9月に研究開発支援拠点「みえライフイノベーション推進センター（MieLIP）＊」を県内7箇所に開設しました。

現在、各拠点の運営主体が特色を生かした製品やサービスの開発に向けて自立的な取組を行っており、製品化事例が生まれています。

【MieLIP】

＊MieLIP 拠点

セントラル（三重大学内）、鈴鹿（鈴鹿医療科学大学内）、津（三重県工業研究所内）、伊賀（三重大学伊賀研究拠点内）、多気（多気町役場内）、鳥羽（鳥羽市役所内）、尾鷲（尾鷲市役所内）



### 主な取組

○MieLIP セントラル（三重大学内）

- ・大学研究者と国内外研究機関・企業等とのコーディネート、製品化支援
- ・海外市場への販路開拓に向けた企業間マッチング等の支援
- ・県内医療機関と連携した「みえ治験医療ネットワーク」の推進
- ・統合型医療情報データベースの構築 等

○MieLIP 鈴鹿

- ・CYBERDYNE(株)のロボットスーツHALを活用したリハビリテーション施設

「鈴鹿ロボケアセンター」の開設

- ・ 鈴鹿産ハナビラタケを原料として医薬品メーカーと鈴鹿医療科学大学が共同研究を実施したスキンケアクリーム「クロシエットフルール」の製品化 等

○MieLIP 津

- ・ 医療・福祉現場ニーズと県内ものづくり企業とのマッチングや製品化に向けた技術的支援や新規参入支援
- ・ 食の機能性素材や機能性食品の開発支援 等

○MieLIP 伊賀

- ・ 伊賀市立上野総合病院と食品メーカーが連携した高齢者向け高カロリー豆腐の開発等

○MieLIP 多気

- ・ 自転車を活用した健康増進プログラムの開発
- ・ 複合健康リゾート施設の整備に向けた産官学民のメンバーによる会議の開催
- ・ 高校生と製薬企業の共同による乳液、ボディスキンケアジェル、シャンプー、トリートメントの製品化 等

○MieLIP 鳥羽

- ・ 鳥羽の海洋資源を活用したボディスキンケアジェル「パールプリンセス」の製品化
- ・ 海岸ウォーキングによるリラクゼーション効果を生かした旅行商品の開発 等

○MieLIP 尾鷲

- ・ 尾鷲セラピストによる熊野古道・健康ウォーキングツアーの開発

エ 総合特区支援利子補給金の活用

特区計画の推進に資する事業を実施する事業者が指定金融機関からの融資により資金調達を行う場合に、事業者の金利負担の軽減を図ることで円滑な事業実施を支援する総合特区支援利子補給金(利子補給率:0.7%以内)について、事業者や金融機関に対する制度の利用啓発や利子補給に必要な国への事業者推薦を行いました。

【企業、金融機関、行政】

- ・ 推薦案件数(平成28年2月現在) 累計7件

オ 規制緩和の特例に向けた協議

総合特区制度に基づく特区内での規制緩和の特例措置の実現に向けて、各種の要望を行いました。

【大学等、企業、行政】

要望を行った結果、全国展開ながら規制緩和が実現された項目

- ・ 複数医療機関が参加した治験における倫理審査の集約化
- ・ 医療機器製造販売業の総括販売責任者及び医療機器製造業の責任技術者の資格要

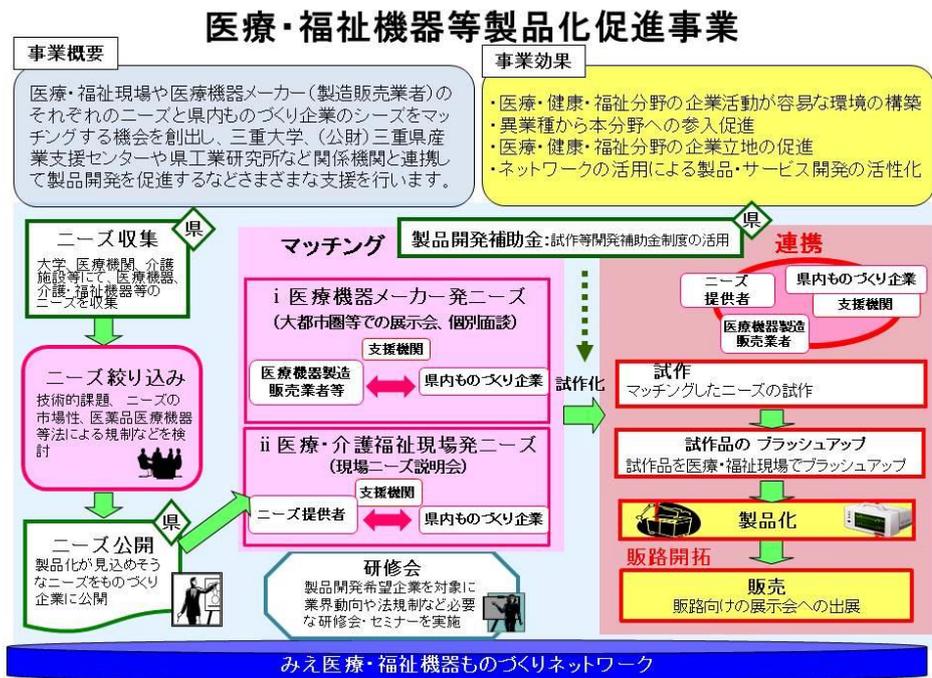
件の緩和

- ・研究開発税制における総額型の恒久措置化
- ・医療機器製造販売業における国内品質業務運営責任者の資格要件の緩和 等

## カ 医療・福祉機器等の研究開発・実用化の促進

県内ものづくり企業の医療・健康・福祉産業への参入や製品化を促進するため、医療・福祉現場や医療機器メーカー等のそれぞれのニーズを収集し、大学や（公財）三重県産業支援センター、三重県工業研究所等が連携して、県内ものづくり企業のシーズとマッチングし、製品化につなげる取組を進めるとともに、県内ものづくり企業のネットワークを構築しました。

【大学等、企業、医療・福祉機関、経済団体、行政】



### ○「みえ医療・福祉機器ものづくりネットワーク」の創設

高度なものづくり技術を持つ県内ものづくり企業の医療・健康・福祉分野への参入を促進し、医療・福祉機器等の製品開発につなげるため、県内ものづくり企業等を対象とした「みえ医療・福祉機器ものづくりネットワーク」を創設しました。

ネットワーク会員企業に向けて、商談会や財政的支援制度の案内などの情報提供の実施や、医療・福祉現場ニーズ等を基にしたものづくりに対する三重県産業支援センター、県工業研究所等が連携した支援体制の構築やマッチングの実施等を行っています。

・会員数（平成 28 年 2 月現在） 企業 78 社、支援機関 7 機関

○医療・福祉機器等の開発支援

医療・福祉現場のニーズ収集や医療機器メーカーと県内ものづくり企業とのマッチング、試作品・製品開発に関する技術的・財政的支援、販路開拓支援等を行いました。

医療機器メーカー発マッチングの成果（H24～H27）

	マッチング件数	製品開発取組数	製品化数
医療機器メーカー発マッチング	197件	11件	5件

医療・福祉現場ニーズ発マッチングの成果（H24～H27）

	収集ニーズ	公開ニーズ	製品開発取組数	製品化数
医療・福祉現場ニーズ発マッチング	2,072件	50件	19件	11件

主な製品事例



点滴スタンド「カチャっと君」  
（三重金属工業（株））



頸部超音波栓子検出装置  
（橋本電子工業（株））



急性期冷却剤「アイシングフィットG」  
（三重化学工業（株））

キ 地域資源活用型医薬品等の開発促進

県内の天然資源や薬用植物等を有効活用した付加価値の高い医薬品、医薬部外品、化粧品等の製品開発を促進するため、開発に意欲的な事業者への財政的支援や販路開拓支援、薬用植物の試験栽培等を行いました。

【大学等、企業、団体、行政】

## 主な製品事例



「まごころボディジェル姫(ひめ)」  
(万協製薬㈱、相可高校)



ボディスキンケアジェル「パールプリンセス」  
(鳥羽商工会議所、御木本製薬株式会社)

### ク 付加価値の高い食品等の開発促進

生活習慣病予防や医療・介護現場で必要とされる食品など付加価値の高い食品開発を促進するため、開発に意欲的な事業者への財政的支援や販路開拓支援、食品メーカーと医療機関による共同研究の実施に向けた支援を行いました。

また、27年4月からスタートした「機能性表示食品制度」を活用した食品の開発支援として、県内大学や試験研究機関等と連携した相談窓口の開設や同制度の消費者庁への届出を希望する企業等への支援を行いました。

【大学等、企業、団体、医療機関、行政】

## 主な製品事例



医療現場ニーズを反映した高齢者向け  
介護・栄養食品(井村屋㈱)



糖質制限が必要な方が気軽に食べら  
れるパン・スイーツ(㈱ウェルフード)

### ケ 健康増進プログラム等の開発の促進

科学的根拠に基づいた健康増進プログラムの開発と県民が健康増進に取り組むための動機付け及びその持続を促す方法を確立し、関連機器・サービスの開発や普及のしくみを構築して、新たな健康関連サービス産業を創出させるため、企業が開発した健康管理・生活支援サービスについて導入

効果や市場性等を検討する実証事業の支援を行いました。

また、健康長寿の社会づくりをめざして健康住宅に関する様々な研究等を行うため、産官学民による「みえ健康住宅産業振興フォーラム」の設置や木材を活用した健康住宅の実証研究に取り組みました。

【大学等、企業、団体、行政】

#### 主な取組事例

- ・タブレットを活用した健康管理・生活支援サービスの実証事業の実施（㈱シャープ、亀山市等）
- ・みえ健康住宅産業振興フォーラムの設置 等



タブレットを活用した健康管理・生活支援サービスの  
実証事業（㈱シャープ、亀山市等）

#### コ 地域版次世代ヘルスケア産業協議会の設置

「日本再興戦略」で位置づけられた健康寿命延伸産業の育成に向けて、産業創出に向けた課題と解決策を検討する機関として国が各地域に「地域版次世代ヘルスケア産業協議会」の設置を呼び掛けています。本県では「みえライフイノベーション総合特区地域協議会」を当該会議として位置づけ、同産業の育成に向けた課題と解決策の検討や企業が行う実証事業に対する意見・協力等を行いました。

【大学等、関係団体、企業、経済団体、金融機関、行政】

### ④ 基本方向4「情報発信・収集の充実」の取組と成果

#### ア 総合的な情報の発信

メディカルバレープロジェクトの概要や先駆取組事例、製品やサービスなどの成果等について、メディカルバレー通信、みえライフイノベーションNEWS、ホームページ及びメールマガジンなどの媒体や展示会、セミナーを活用した情報発信を行いました。

【大学等、企業、行政】

## イ 国内・海外との連携交流、情報収集

国内外の自治体、企業との連携やコンソーシアムの形成を図るため、国内で開催される学会・展示会への参加や先進的な取組を行う国内外の自治体の情報収集、企業や自治体等の視察受け入れなどを実施し、情報交換を行いました。

### 【大学等、企業、行政】

#### ○国内

##### ・岐阜県、広島県との医療・福祉機器開発に向けた連携取組

首都圏及び関西圏における展示会への3県共同出展を行いました。その中で、出展企業同士（三重県企業と岐阜県企業）の共同研究も始まりました。また、広島県が実施する「福祉用具・介護ロボット実証・実用化フィールド事業」へ三重県企業3社が参画し、県内で開催された「福祉用具フォーラム」に広島県、岐阜県企業が出展されました。



岐阜県・三重県医療福祉機器等開発連携  
会議



(株)タナック(岐阜県)と三重化学工  
業(株)(三重県)との共同研究

- ・中部圏のヘルスケア産業振興を目的としたネットワークへの参画
- ・地域治験ネットワーク会議への参画 等

#### ○国外

##### ・台湾

政府機関、研究機関、経済団体、台湾企業との関係構築と日台産業連携と県産品の輸出拡大をめざすため、知事を団長とするミッション団を派遣し、T J P O（台日産業連携推進オフィス）と三重県の「産業連携に関する覚書（MOU）」を締結しました（平成24年7月）。また、T J P Oと三重県の産業連携推進プランへ署名を行いました（平成26年11月）。

これらを機に、日台企業の連携による医療関連機器の共同開発や医薬品、化粧品の受託設計・製造・販売が取り組まれています。



産業連携に関する覚書(MOU)締結



TJPOと三重県の産業連携推進  
プランへの署名



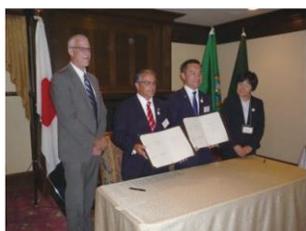
卓上型透視検査装置の共同開発(株中部メ  
ディカル・和鑫生技開発有限公司)

### ・アメリカ

世界最大の市場である北米の企業や研究機関との交流・連携を進めるため、知事を団長とするミッション団を派遣し、ワシントン州政府と県との間で産業連携としては日本初となるMOUの締結や、WBBA\* (ワシントン州バイオテクノロジー&バイオメディカル協会、現LSW: ライフサイエンスワシントンに改称) に対して本県が取り組む統合型医療情報データベースや治験医療ネットワーク等の活用に向けたトップセールスを行いました(平成26年8月)。

また、28年3月には、今後の連携の可能性の調査を行うために、ワシントン州を訪問し、LSW及びバイオ系、医療機器メーカーのニーズ等の情報収集と県の具体的取組や県内企業の情報提供など意見交換を行いました。

\*ライフサイエンス分野の産業振興を目的に設立された産学官支援団体



ワシントン州政府とのMOU締結



テキサス州サンアントニオ市とのMOU締結

このほか、ブラジル、韓国、インドネシア、スイス、イタリア等との連携可能性調査等を行いました。